



第1回目 【投薬】

薬が処方されて、「どうやって薬をあげたらいいのかな?」「うまくあげられないなあ。」と困惑する事があると思います。病院で行っている投薬方法を紹介しますので、参考にしてみてください。

薬の形状には A.錠剤 B.粉末 C.顆粒 D.カプセル E.液体 などがあります。
 それぞれ可能な枠に記号がふってあります

① A~E

フードにのせて(かけて)



ご飯が大好きで、少し味が変化しても食べてくれる子にはオススメ!

② A~D

直接、口にいれる



口を開け、口の中に手を入れても大丈夫な子はやってみましょう。
 犬・・・口の奥へ押し込む
 猫・・・口の奥に落とす

③ B,C,E

・注射器(シリンジ)を使う
 ・粉を水(シロップ)に溶かして
 注射器であげる



錠剤以外の薬は、注射器を使用できます。

④ A~D

フードに包んで



味に敏感でもご飯が大好きな子は、包み隠してしまいましょう。

⑤ A, D 投薬棒を使う



投薬棒とは・・・棒の先端に薬を挟み口の中に入れる道具
 投薬時に嫌がったり咬みついたりする子に使用します。

⑥ A~C 空のカプセルにつめる



錠剤の数が多い・粉が飲みにくい時に空カプセルにつめて1つにします
 様々なサイズのカプセルがあります。

⑦ B,C

・フード(缶詰など柔らかい物)に混ぜて、注射器に詰めて口にいれる
 ・上顎に塗る



上顎に塗ることで、舐めとりやすくなります。

その他

・薬が飲み辛い時は… オフラートに包む、スプーンにのせて口に運ぶ、ピルポケット(新発売)、フロストシュガー(自作糖衣錠)をつかうなど
 動物の性格に合わせてあげやすい方法が異なります
 ・投薬練習を病院で行う事も可能です

ポイント

- ・動物が機嫌を損ねる前に投薬を済ませましょう
- ・咬まれたり、引っかかれないように気を付けましょう
(猫が暴れてしまう時は、バスタオルに包んで行くと、動きが制御できます)
- ・投薬をする時、しない時で対応にメリハリを付けましょう
- ・投薬が困難な時は無理せず相談してください

